



113号
2015年11月

船橋市議会議員（市民社会ネットワーク）

浦田秀夫通信

自宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL&FAX 047- 466-6019
事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL&FAX 047- 461-1350
メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ浦田秀夫で検索

スクールカウンセラーの全校配置など 評価し26年度決算を認定

船橋市議会3回定例会の最終日（10月16日）に26年度決算の認定について採決が行われました。

市民社会ネットワークは26年度一般会計決算について、全小学校区に54名のスクールカウンセラーを配置したこと。全小学校の図書館蔵書冊数について計画を前倒しして学校図書館図書標準を達成したこと。母子家庭や生活保護家庭の子どもたちの学習支援を始めたこと。防犯灯設置の補助金の補助金率を引き上げ、市内の防犯灯のLED化を大きく進めたこと。北総育成園の大規模改修工事を行い、利用者全員が個室になったことなどを評価して認定しました。

保育の待機児童解消については、施設整備に没頭し、肝心の保育士を確保できなかったことを反省し、平成28年度には必ず待機児童を解消すること。就学援助費については、国が支給対象としているクラブ活動費、生徒会費、PTA会費を支給対象にすること。HPVワクチン副反応被害者について独自の支援をすること。住宅が貧困問題と密接に結びついていることを認識し市営住宅の戸数を増やすこと。奨学金貸付事業は給付とすることなどを要望しました。



第2斎場建設基本設計案

10月9日、四市複合事務組合から第2斎場建設基本設計案が示されました。

第2斎場建設計画は、既存施設である馬込斎場が火葬能力に限界が近づいている中で、平成31年10月稼働をめざして習志野市茜浜に建設する計画です。

第2斎場は、火葬炉15基、式場4室、待合室15室、キッズルーム、授乳室、駐車場が最大316台など延べ床面積9.747平米で、総工事費約114億7千万を想定しています。

計画地の茜浜は、冬の入り日の美しさをたたえ、その名がつけられたと言われていますが、計画コンセプトでは、その環境を生かした施設計画とし、ウォーターフロントの開放感に包まれながら、参列者が心を落ち着かせて故人を見送ることができるような施設の実現をめざすとしています。

計画地は、海に面した埋め立て地の軟弱地盤であることから液状化や高潮対策、塩害対策も重要になっています。

建物の屋上には最大70K/Wの太陽光発電施設が設置可能になっています。



新京成線連続立体化の検討

都市計画整備方針に明記

11月6日に開催された都市計画審議会で、市から付議された「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更」の中



に「交通渋滞の解消を図るため、新京成線の連続立体化について鉄道事業者と調整を図りながら検討を進める」ことが初めて明記されました。

これまで新京成線の立体交差化を求めてきましたが大きな前進です。

しかし、「検討に当たっては、交通渋滞の解消や財政的観点からだけでなく、都市景観や都市機能、鉄道敷地の有効活用という観点からも検討し、高架化だけではなく地下化についても検討すべきだ」と意見を述べました。

また、現在鎌ヶ谷市内で行っている高架化事業は完成まではまだ時間がかかるので、事業完成を待たず、検討は早期に開始するよう要望しました。

集約型都市構造に関する方針や低炭素都市づくり方針の中で「駅周辺に公共施設や商業、医療、福祉の都機能を集約する」としていますが、この方針では地域の商店や医療施設、福祉施設が衰退する恐れがあると指摘し、経済部や福祉部と調整することを求めました。

「都市再開発の方針の変更」では、西船橋駅北口地域を一体的かつ総合的に再開発を促進すべき地区（2号再開発促進地区）に指定すべきとの意見を述べました。

生産緑地地区の変更（廃止）に関しては、農業従事者が死亡するなどの理由で生産緑地としての指定が廃止される市街化区域内の農地について、市が公園用地や公共施設用地として積極的に買い取るよう要望しました。

使用済み小型家電回収拠点

公民館など12カ所増設

市は使用済み小型家電の回収拠点を11月5日から、これまでの市役所本庁舎、船橋駅前総合窓口センター、北部清掃工場、東図書館の4カ所から、新たに12カ所増設し16カ所としました。



新たな回収拠点は、北部公民館、海老が作公民館、北図書館、宮本公民館、東部公民館、浜町公民館、葛飾公民館、夏見公民館、三田公民館、薬園台公民館、高根台公民館、法典公民館です。

小型家電の回収・リサイクルは平成26年2月から始まりましたが、市民から「市内で回収拠点が4カ所しかないのは少なすぎる。公民館などに回収ボックスを設置することはできないのか」との意見が寄せられ、平成26年度の第2回市議会でこの問題を取り上げ、市に回収拠点を増やすよう求めてきたものです。

これによって小型家電リサイクルがもっと進むことが期待されます。

回収する小型家電は、デジカメ、ビデオカメラ、ゲーム機、電話機、ICレコーダー、電子書籍端末、カーナビ、電卓、電子辞書、ヘアードライヤー、電気かみそり、電動歯ブラシ、電子血圧計、ラジオ、時計、懐中電灯充電器、リモコンなど15センチX30センチ以

浦田秀夫を囲む新春のつどい

日時 2016年1月10日（日）

午後1時30分から

会場 高根台公民館 講堂

参加費 1,000円

参加申込先 047-466-6019